



▲図書館屋上のハーブガーデン

質問 羽村市の温室効果ガスの排出状況は。
市長 今年3月、オール東京62市区町村共同事業により市区町村単位の温室効果ガス排出量の算出手法が確立された。これによると平成18年度の羽村市全体の温室効果ガスの排出量は32万7

千トンである。部門別の二酸化炭素の排出量構成比は、産業部門45・0%、業務部門14・9%、家庭部門17・1%、運輸部門21・1%、その他1・9%である。
質問 羽村駅西口土地区画整理事業の温室効果ガス排出量は。
市長 土地区画整理事業における建築・土木工事による温室効果ガス排出量算定手法が未確立なので算出していない。
質問 地球温暖化対策地域推進計画の取り組み状況は。
市長 平成22年度の策定に向け、今年度から作業に着手している。温室効果ガスの削減目標については、国は西暦2020年までに2005年比で15%を削減するという中期目標を掲げているので、これらを参考に環境審議会の計画原案を尊重し適切な削減目標を設定したい。
質問 現在利用していない市有地の緑化を。

なかほら まさゆき
中原 雅之 議員
 (日本共産党)



◇地球温暖化対策の推進を

はしもと ひろたか
橋本 弘山 議員
 (新政会市民クラブ)



◇市税他収納率の向上対策について
 ◇美しく、清潔な街づくりについて

市税他収納率の向上対策について
質問 平成20年度決算の収納率・未収入額とその所感は。
市長 市税全項目の収納率は95・7%、未収入額は4億5千万円で前年度と比べて203万円の減少となった。景気低迷の中で前年とほぼ同程度の収納率維持は徴収努力の結果と考える。
質問 コンビニ収納の現在までの状況は。
市長 本年4月から市税等についてコンビニ収納を実施した。口座振替の方を除く納税義務者の約38%の方がコンビニ支払いを利用されている。使用料とともに、納税者に対する利便性が大幅に向上したと考える。
質問 収納率向上に向けて現在および今後の取組みについて。
市長 平成21年度は、景気低迷により、市税等収入への影響が懸念される。新たな滞納繰越分にならぬよう、現年度



▲道端に捨てられた空き缶

分だけが滞っている滞納者に対して、納入期限後の早い時期の電話催告、併せて管理職による個別訪問とその「後追い調査」を実施する予定である。
質問 市税や料金など、すべての滞納整理を専門に担当する部署の設置を考

いちかわ えいこ
市川 英子 議員
(日本共産党)



- ◇ 堰下レク広場トイレと階段改善を
- ◇ 公共施設地上デジタル化について
- ◇ 生活道路の雨水対策について

**堰下レクリエーション広場のトイレ
建て替えと階段の改善を**

質問 広場へ下りる階段が急でしかも手すりもないため、高齢者や子供たちの利用は危険との声がある。この広場の利用者は、20年度は4千518人である。また、日常的に個人や保育園、幼稚園児が利用している。高齢者からは「階段を下りるのが怖い」との声がある。また、保育園児は先生が抱えて下りている。何らかの対策を。

市長 国土交通省によると「工作物を設置することはできない」とのことである。
質問 多摩川右岸はトイレが郷土博物館と広場の2カ所しかない。博物館の休館日には利用できないことや、広場のトイレは簡易式のため「汚くて利用できない」という声がある。清流町の公共下水道の開始と併せ、レクリエーション広場のトイレを市内児童遊園と同様に建て替えるべきと思うがどうか。
市長 固定式のトイレは設置できない。
公共施設の地上デジタル化の見通しは
質問 日本共産党はそのままではテレ

ビ難民が生まれかねないことを指摘し、地デジテレビの普及率や買い替えサイクルに見合った時期までのアナログ放送の停波延期を求めている。また、市営住宅に住んでいて「テレビを買い替えたが映らない」という声がある。早めの対応を。
市長 多摩ケーブルネットワークのシグナルが弱いためであるので、なるべく早い時期に増幅器を設置する。
生活道路の雨水対策について
質問 玉川町の真ん中を走っている道路、市営住宅付近等、雨水対策の必要な生活道路がある。「何とかしてほしい」との声があるが、改善する考えは。
市長 状況を調査して対応していく。



▲堰下レクリエーション広場

市長 すべての市有地に樹木等の植栽による緑化は難しいが、普通財産として保有する未利用市有地については可能な範囲で対応を研究していきたい。
質問 市内小中学校の緑化率の現状は。さらに緑化の推進を。
市長 平成18年度に実施した「羽村市緑被率調査」における小学校の緑被率は平均17・5%、中学校が平均9・2%となっている。樹木の少ない学校には、必要に応じて植栽を追加している。
質問 ゆとろぎ屋上の緑化を。
市長 考えていない。

えたらどうか。
市長 組織や業務効率など、さまざまな角度から研究していきたい。
美しく、清潔な街づくりについて
質問 犬の糞害、ポイ捨て防止に関する条例の設置を考えたらいかがか。
市長 最も重要なことは、モラルの向上にある。市では「羽村市美しいまちづくり基本条例」を制定し、愛玩動物の飼育者の責務を規定し、マナーの向上や糞の適正処理を呼びかけている。また、空き缶等のポイ捨て禁止を規定し、啓発活動を進めている。今後もモラル向上の啓発を行っていきたい。

みずの よしひろ
水野 義裕 議員
(羽村 21)



◇大規模事業の評価などについて
◇学校教育のICT化について

大規模事業の評価などについて

質問 羽加美栄立体交差の効果は。

市長 5月25日朝夕、併せて5時間の交通量は2千448台。間坂街道の交通量は同じ日の同一時間帯に、間坂第一踏切で1千606台。間坂街道の平成19年3月の交通量は2千58台だったので、開通により452台の車両が

減少したことになる。

質問 羽村駅舎改良工事の今後は。

市長 自由通路の拡幅は、道路として整備するために、JR東日本と改めて協議し、工事に対する国庫補助金の獲得も含めて進めていく。

質問 施設のバリアフリー化については。

市長 会館の改修に伴い、出入口についてもバリアフリー化に努めているが、施設の形態や敷地の関係から、それが困難な場合もある。大規模改修の際に対応していきたい。

質問 ゆとろぎの大ホールなどの出入口は、施設の構造や防音などの面から扉が観音開きになっており、介助が必要な方には職員が対応できるよう心がけている。学校は、障害のある児童の状態やニーズ等に対応できるよう、大規模改修の際に対応したい。

質問 文部科学省が進める、学校教育のICT(情報通信技術)化について



▲羽加美栄立体交差

やまぎき よういち
山崎 陽一 議員
(世論)



◇住民無視の区画整理を中止せよ
◇予算編成過程の公開を

土地権利者への「個別回答」について

質問 議会で167名と答弁しているが、7月末に何名の権利者に回答したか。

市長 個別回答を求める要望書に記載された権利者74名に7月30日付で、残りの方には8月28日付で回答した。

質問 回答が総論だ。項目別の質問に対応していない。やり直すべきだ。

市長 意見要望書の内容は事業全般に對するものであり、現段階では不確定要素を含むので説明できる範囲で回答した。

質問 換地設計(案)見直し方針案が決まったのであれば、換地に関する質問にも答えられるのではないか。

市長 換地設計(案)見直し作業の基本指針であり、直接換地設計(案)に係るものではないため答えられない。

宅地地盤高調査について

質問 今なぜ道路の高さの調査か。

市長 換地設計(案)見直しで、宅地計



▲羽村駅西口

画高の検討のため現況地形の把握、および補足測量を実施している。また、個別説明で区画整理後の立体的なまちなみイメージを求められており、分かりやすい資料を作成している。

質問 なぜ新都市建設公社がしないか。

市長 宅地地盤高調査に加え、新たに